



www.globalpointofcare.abbott を 使用して i-STAT 1 ANALYZER SOFTWARE を更新する手順

概要

この技術告示は、i-STAT 1 Analyzer のソフトウェアを更新する手順を説明するために特別に作成されたものです。この手順の所要時間は、最初のアナライザーでは 10 分未満、追加のアナライザーではそれより短くなります。

i-STAT Analyzer のソフトウェアの更新が必要な理由

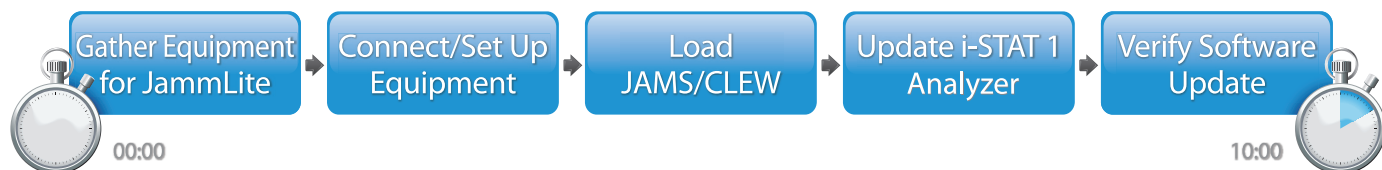
i-STAT 1 System は、提供された結果に対するオペレーターの影響を排除するように設計されています。

i-STAT System の製造プロセスの継続的な改善により、性能の長期的な一貫性を維持するために、随時標準化値を更新する必要があります。これらの更新は、従来の検査室アナライザーでの校正を手動で調整することと同等です。

新 CLEW ソフトウェアは年 2 回提供され、これらの標準化値を再設定し、内部品質モニタリングシステムの改良を組み込んでいます。新しい JAMS アプリケーションソフトウェアにより、i-STAT 1 Analyzer は新規導入されたカートリッジの種類を認識し、新規導入された機能を実行することができます。

JammLite プロセス概要

更新する i-STAT 1 Analyzer の数にかかわらず、最初の i-STAT 1 Analyzer を更新するには、JammLite の手順に従う必要があります。このプロセスを以下の図に示します。



i-STAT は体外診断用です。

オプションの手順

JammLite ユーティリティを使用して最初の i-STAT 1 Analyzer を更新したら、追加の i-STAT 1 Analyzer を同様の方法でまたはアナライザー間のメソッドで更新することができます。

1. Update with
JammLite Utility

or

2. Update with the
Analyzer-to-Analyzer Process

i-STAT 1 Analyzer を更新する最適な方法の選択

JammLite

最初の i-STAT 1 Analyzer は必ず JammLite メソッドで更新してください。JammLite が使用できる状態で、JammLite の実行に使用するコンピュータが近くにある場合は、すべてのアナライザーを JammLite で更新することが理想的です。

アナライザー間

アナライザー間メソッドは、最初のアナライザーを JammLite で更新し、JammLite ユーティリティの実行に使用されたコンピュータの近くに更新が必要な他のアナライザーがない場合に適した方法です。

i-STAT/DE


i-STAT/DE のユーザーで、i-STAT/DE 経由で i-STAT 1 Analyzer を更新する場合は、「www.globalpointofcare.abbott」を使用して i-STAT 1 Analyzer を更新するためのネットワーク オプション」を参照してください。

本技術告示の使用に関する指示


色分けされたセクション

この告示には色分けされたセクションがあり、i-STAT 1 Analyzer の様々な更新方法に関連付けられた手順を簡単に識別することができます。

色分けされ番号付けされた手順

上記の通り、i-STAT 1 Analyzer の更新には様々なオプションがあります。色分けされ番号付けされた手順は、選択した更新プロセスを説明する際や、技術的問題が発生した場合や手順を繰り返す必要がある場合に告示内で指示する際に役立ちます。例えば、 はセクション 2 を示します（アナライザー間更新メソッド）。

トラブルシューティングに関するヒント

必要に応じて、技術告示にトラブルシューティングのヒントが記載されています。これらのヒントは  アイコンで識別され、ページの右側に表示されます。

JammLite ユーティリティを使用して更新するには、以下の手順に従います

JammLite の機器を用意する

i-STAT 1 JammLite ユーティリティ

1.1

プロセスを開始する前に、必要な機器がすべて使用できるようになっていることを確認してください

- 以下の要件を満たすコンピュータ：
 - Windows 10 または 11
 - 9 ピンシリアルポートまたは USB ポート（DRC-300 を使用している場合）
 - globalpointofcare.abbott へのアクセス
- i-STAT System の機器：
 - Serial Downloader/ Recharger（DRS-300）
または DRC-300
または
 - Serial Downloader（DS-300）
 - ダウンローダ電源
 - i-STAT 1 Analyzer
 - 9 ピン null モデムシリアルケーブル
（DS-300 または DRS-300 ダウンローダに同梱）
 - USB ケーブル（DRC-300 に同梱）
 - 電子シミュレータ




DS-300 または DRS-300 を使用する際は、従来の 9 ピンシリアルポート付きのコンピュータが必要です。コンピュータに搭載されていない場合は、社内テクニカルサポート手順に従ってください（所属オフィスの IT 部門またはコンピュータサポート担当者にお問い合わせください）。i-STAT 1 ソフトウェア更新プロセスで必要となるものは以下の通りです。

- 9 ピンシリアルポート

テクニカルサポートが必要ですか？
サポートサービス担当者にお問い合わせください。



1.2 i-STAT 1 Analyzer のバッテリー電源が十分（7.5V 以上）であることを確認してください。 これを確認するには、以下の操作を行います。

- **On/Off** () キーを押します
- **MENU** キーを押します
- アナライザーのステータスを確認するには **1** を押します
- バッテリー電圧を確認します



充電式バッテリーをお持ちの場合は、7.5V 以上になるまでアナライザーを充電します。



充電式バッテリー



使い捨てバッテリーをお持ちの場合は、新しいものと交換します。



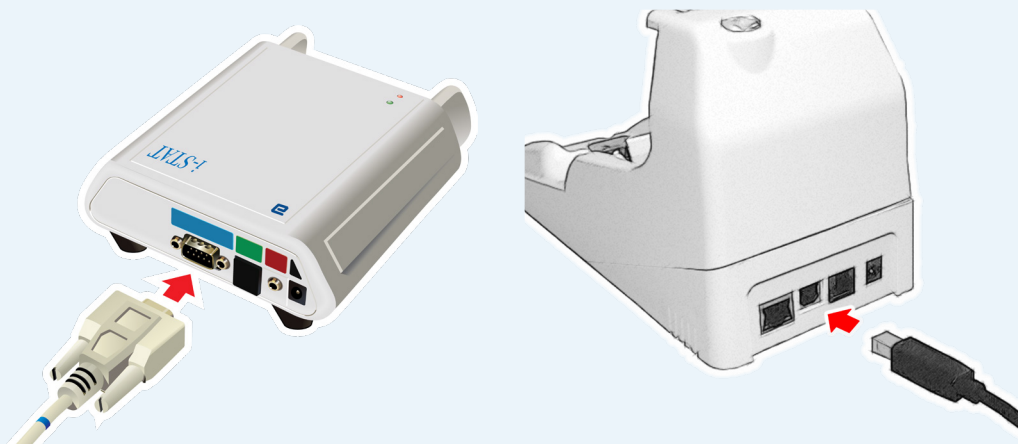
使い捨てバッテリー

機器の接続 / 設定

i-STAT 1 JammLite ユーティリティ

1.3 Serial Downloader または Serial Downloader/ Recharger を使用する場合は、 図示のように、9 ピン null モデムシリアルケーブル搭載コンピュータ背面の 9 ピンシリアルポートに i-STAT 1Serial Downloader を接続します。

DRC-300 を使用する場合は、図示のようにコンピュータ背面の USB ポートに DRC-300 を接続します。**注：**これらの説明は、i-STAT 1 System マニュアルのセクション 6 に従い DRC-300 がすでにインストールされていることを前提としています。



1.4

電源を以下に接続します。

- i-STAT 1 Serial Downloader または Serial Downloader/ Recharger、および
- 壁面コンセントまたは電源タップ



Serial Downloader に電源が供給されると、緑色のライトが点灯します。

Serial Downloader/ Recharger または DRC-300 に電源が供給されても、電源が供給される前と見た目は変わりません。

JAMS/CLEW の読み込み

i-STAT 1 JammLite ユーティリティ

1.5

コンピュータで開かれているすべてのプログラムを閉じます。

1.6

www.globalpointofcare.abbott> サポート > i-STAT System の顧客 > ソフトウェア アイコン > ログインの順に移動します。

- A) 世界中のサイトからソフトウェアをダウンロードする場合：
 - ドロップダウンメニューから「i-STAT 1」と言語を選択します。
- B) 世界中のサイト以外の任意のサイトからソフトウェアをダウンロードする場合：
 - ドロップダウンメニューから「i-STAT1 Instrument Software」を選択します。

1.7


「ステップ 2：ソフトウェアファイルをダウンロード」までスクロールします。

- [DOWNLOAD SUXXXXXX.zip] をクリックし、デスクトップにファイルを保存します。
- [Download Complete] ウィンドウを閉じます。

1.8

- zip ファイルが保存されている場所に移動します。ソフトウェアの zip ファイルを右クリックし、[Extract All] を選択してデスクトップに展開します。
- デスクトップに移動し、「SUXXXXXX」フォルダをクリックして開きます。

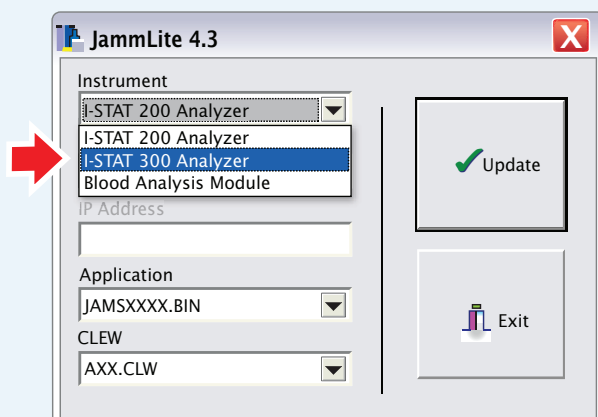
1.9

ソフトウェアファイル「SUXXXXXX.exe」をダブルクリックして実行します。上書きを確認するためのポップアップウィンドウが開いた場合、「Y」を選択して Enter を押します。コマンドウィンドウが閉じるまで、以降のプロンプト表示すべてに「Y」と回答します。表示されるアイコンの中から  JAMMLITE.EXE JammLite ユーティリティをダブルクリックして起動します。

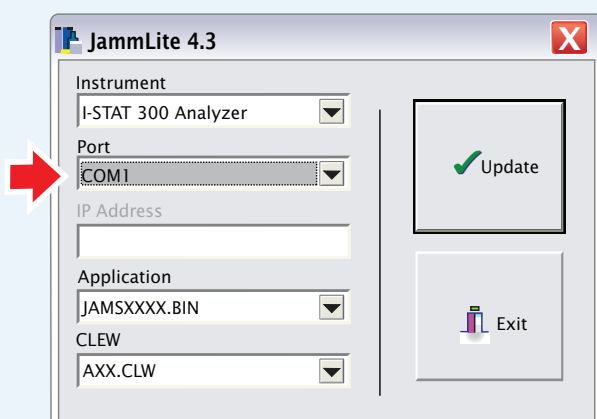


JammLite プログラムが起動しない場合やエラーメッセージが表示された場合は、APOC テクニカルサポートに連絡し、サポート担当者に JammLite Utility を起動できないことを伝えてください。

- 1.10** JammLite ユーティリティで、機器のドロップダウンメニューから
[i-STAT 300 Analyzer] を選択します。



- 1.11** デフォルトでは、最も小さい番号の COM ポートが自動的に選択されます。
- ダウンロードが別の COM ポートに接続されている場合は、その現在の COM ポートに選択し直してください。

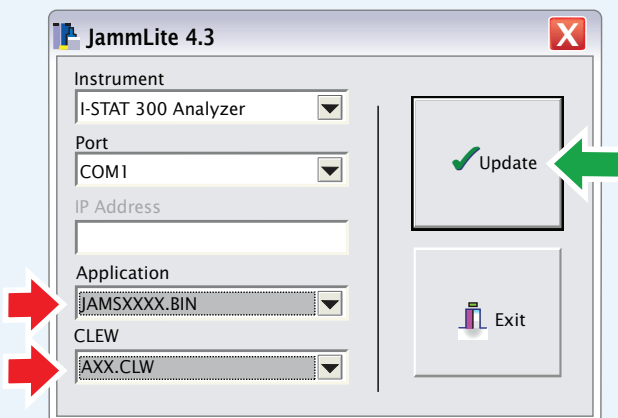


ポートがいずれも表示されない場合は、JammLite を含め、開いているプログラムをすべて閉じてから、JammLite を再起動してください。

JammLite に使用可能な COM ポートがリストされていない場合は、サポートサービス担当者にお問い合わせください。

1.12 Application および CLEW のリストが、製品更新のリストと一致していることを確認してください。

Update ボタンを押します。



注：Application と CLEW の番号は一例です。上記の例では「数字」が「X」に置き換えられており、ソフトウェアの更新ごとに変更されます。

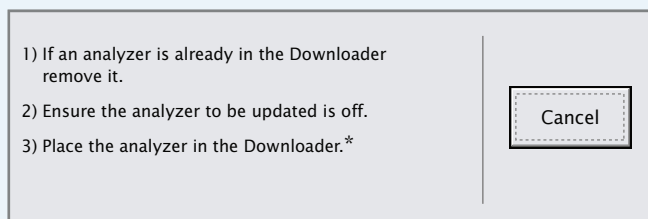


エラーが発生した場合は、Downloader と PC 間のシリアル接続と、downloader への電源接続を確認してください。

正しく接続されている場合は、ドロップダウンメニューから別の COM ポート（TCP/IP 以外）を選択し、[Update] をクリックします。

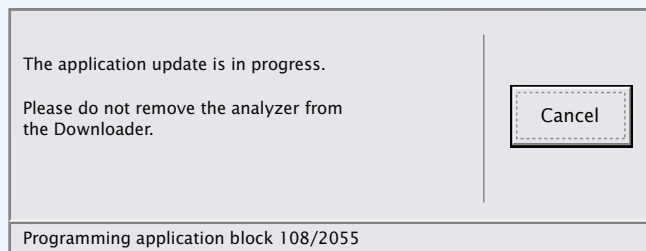
JammLite にリストされている各 COM ポートを試してもエラーが続く場合は、ダウンローダのシリアル番号を確認し、APOC テクニカルサポート担当者にお問い合わせください。

1.13 画面の指示に従ってください。



*Serial Downloader/Recharger を使用する場合、アナライザーが内部に正しく配置されると青色のライトが点灯します。Serial Downloader を使用する場合、アナライザーが内部に正しく配置されると赤色のライトが点灯します。

1.14 更新中は、次の画面が表示されます。

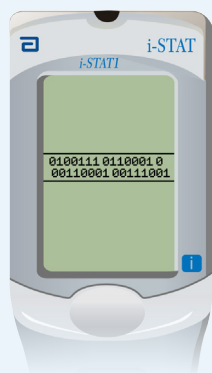


⚠ 左の画面が表示されない場合—

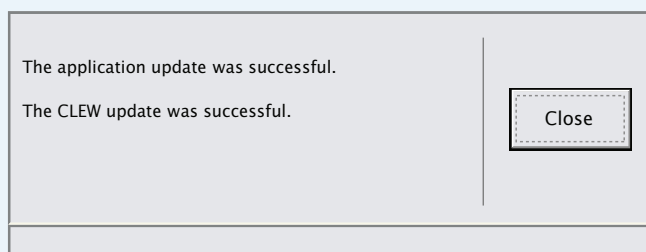
—エラーメッセージを確認し、**[OK]** をクリックします。

手順 **1.12** へ戻る

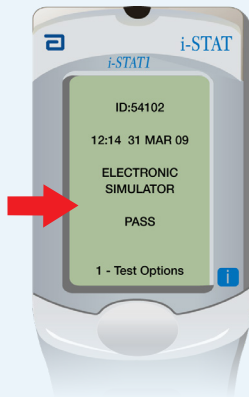
受信アナライザーは、ソフトウェアを受信中であることを示す 1 と 0 の羅列を画面上に表示します。



成功画面が表示されるまで、アナライザーを移動させないでください。



- 1.15** アナライザーで電子シミュレータを実行します。
シミュレータが終了すると、「PASS」と表示されます。



⚠ 「PASS」と表示されない場合は、電子シミュレータを再度実行します。電子シミュレータが何度も失敗する場合は、サポートサービス担当者にお問い合わせください。

⚠ 電子シミュレータの実行に関する詳細については、以下をご覧ください。

- i-STAT 1 のセクション 14 システムマニュアル、または
- 免除されたテストに関する i-STAT System マニュアルの導入および起動セクション

おめでとうございます。最初の i-STAT 1 Analyzer の更新プロセスが完了しました。

詳しい説明については、以下のオプションをご確認ください。

他に更新するアナライザーがない場合は、手順は完了です。

- ソフトウェア画面右上隅の **X** ボタンをクリックします
- 開いている他のボックスをすべて閉じます
- すべてのメッセージを確認します

JammLite で更新するアナライザーが他にある場合：

- **[Close]** をクリックします
- 繰り返す手順： **1.12** ~ **1.15**

アナライザー間プロセスで更新するアナライザーが他にある場合：

- 移動先の手順： **2. Update with the Analyzer-to-Analyzer Process**

Update with
JammLite Utility

2. Update with the
Analyzer-to-Analyzer Process

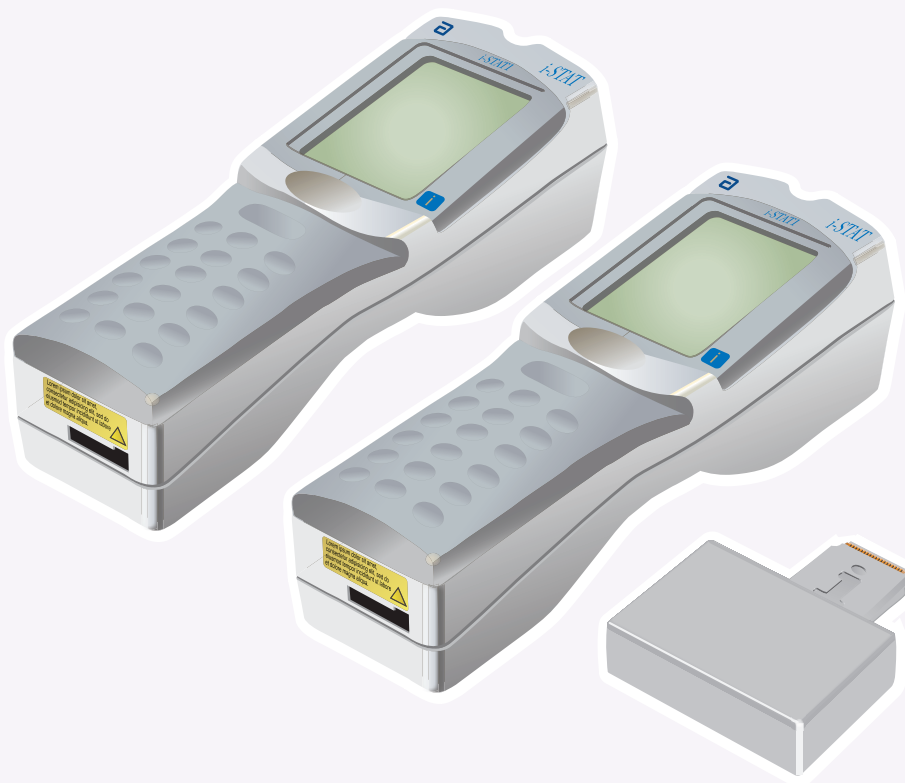
最初の i-STAT 1 Analyzer を更新したらアナライザー間プロセスで他のアナライザーを更新する手順に従ってください

すべての機器を用意する

アナライザー間

2.1 プロセスを開始する前に、必要な機器がすべて使用できるようになっていることを確認してください

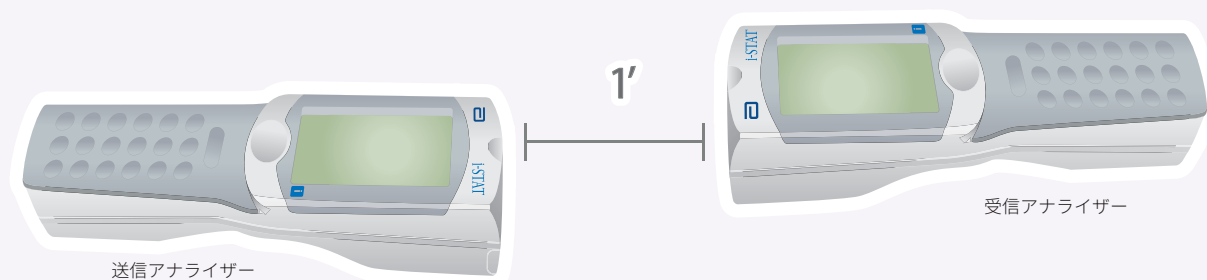
- 7.5V 以上に充電された、最近更新した i-STAT 1 Analyzer
(本セクションの送信アナライザーを参照) *
- 7.5V 以上に充電された、更新の必要があるアナライザーユニット
(本セクションの受信アナライザーを参照) *
- 電子シミュレータ



* バッテリー電源の確認方法に関する手順: **1.2**

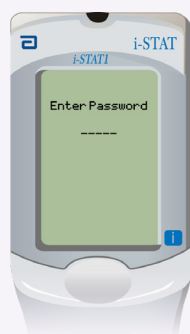
2.2 受信アナライザーの電源が**オフ**になっていることを確認してください。

2.3 送信アナライザーおよび受信アナライザーを、赤外線（IR）ウィンドウを合わせた状態で約 1 フィート離し、平らな面に置きます。



2.4 送信アナライザーを**オン**にして **[MENU]** を押し、**[7-Utility]** を選択します。

2.5 パスワードを求められたら、**ENT** を押して続行します。



注： Abbott Point of Care Inc. では、デフォルトのパスワードを変更することを推奨しています。



入力したパスワードが正しくない場合、ユーティリティメニューは表示されません。データ入力エラーを確認し、再試行してください。

それでも正常に実行できない場合は、APOC テクニカルサポートにお問い合わせの上、以下をお伝えください。

- アナライザー間の更新を試行済みであること
- ユーティリティメニューのパスワードが不明です

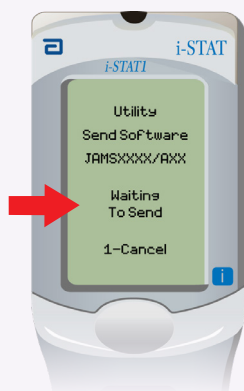
この操作がうまくいかない場合はパスワードが必要です。
所属の組織で設定されたパスワードを入力して **ENT** を押してください。

2.6 ユーティリティメニューで：

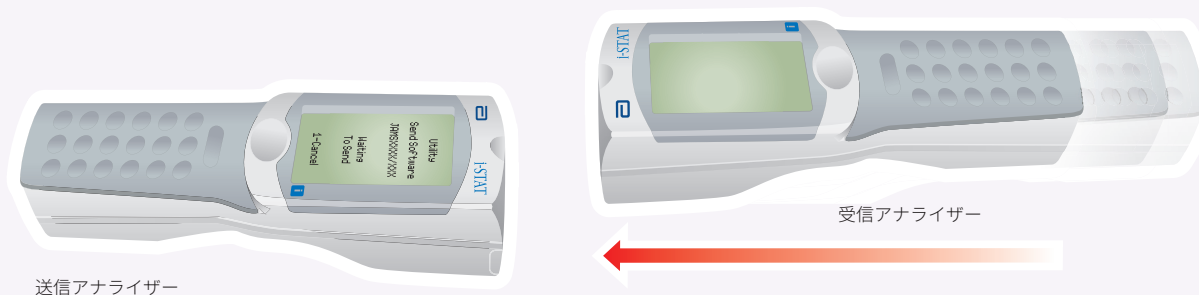
- [1-SEND SOFTWARE] を押します
- [1-SEND] を押します

受信アナライザーの電源が**オフ**になっていることを確認します。

2.7 送信アナライザーに「WAITING TO SEND」と表示される場合：

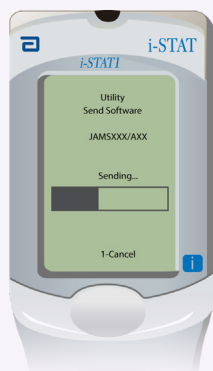


- 赤外線ウィンドウを合わせたまま維持します
- いずれのアナライザーも平面から持ち上げることなく、送信アナライザーに「SENDING」と表示されるまで受信アナライザーを送信アナライザーの方に移動させます。

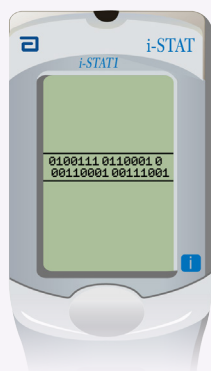


2.8

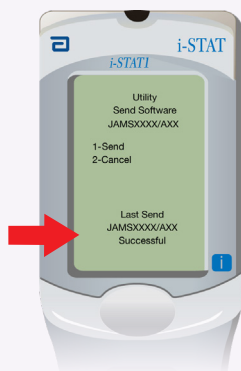
更新中は、送信アナライザーに、ソフトウェアが送信中であることを表す進捗バーとともに「**SENDING**」と表示されます。



受信アナライザーは、ソフトウェアを受信中であることを示す 1 と 0 の羅列を画面上に表示します。



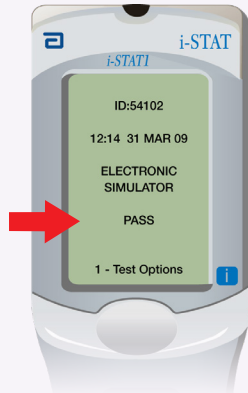
送信アナライザーがユーティリティメニューに戻り、
「**Last Send Successful**」と表示されるまで両方の
アナライザーを動かさないでください。これで更新は
完了です。



2.9

新しく更新したアナライザーで電子シミュレータを実行します。

シミュレータが終了すると、「PASS」と表示されます。



「PASS」と表示されない場合は、電子シミュレータを再度実行します。電子シミュレータが何度も失敗する場合は、サポートサービス担当者にお問い合わせください。



電子シミュレータの実行に関する詳細については、以下をご覧ください。

- i-STAT 1 System マニュアルのセクション 14、または
- 免除されたテストに関する i-STAT System マニュアルの導入および起動セクション

おめでとうございます。追加の i-STAT 1 Analyzer の更新プロセスが完了しました。

他に更新する i-STAT 1 Analyzer がある場合に繰り返す手順： 2.2 ～ 2.9

他に更新するアナライザーがない場合は、手順は完了です。